

特別講演 2

「医療の現状、そして未来を総合的に考える」

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
医歯学系専攻 環境社会医歯学講座 政策科学分野 教授
河原 和夫 先生

少子高齢化の進展、2025年を目途とした地域医療構想の実施、医療財源確保の問題、医師や医療機関の偏在、働き方改革、そして新専門医制度の施行などは、わが国の医療を取り巻く環境に大きな影響を与えている。

地域医療構想と医師確保計画は人的・物的医療資源の再配分を目指したものである。しかし、財源や地域の医療機関の医師需給に影響する働き方改革や新専門医制度等も複雑に絡むことから、医療に関わる因子を総合的に考えなければ優れた計画や政策は立案できない。その一方で、無駄な会議や実効性が担保されていない内容を盛り込んだ行政計画を立案したりしている。いわば行政の政策や意思決定のシステム、さらに社会全体の劣化が進行していると言えよう。

講演では、これから必要となる医療政策の内容について述べるとともに、国や地方レベルで医療政策がうまく進展しない構造上の問題、そして解決策について言及したい。